

■教職履修カルテとは

1. 目的

教職課程を履修するみなさんは、「履修カルテ」の作成が求められます。履修カルテは、教員免許状の取得に必要な科目の修得状況のほか、教職履修上の課題や課題達成状況などを、みなさんに記入していただくものです。履修状況の記録により、みなさんによる計画的な教職履修と、大学教員による系統的な指導につなげることを目的としています。

2. 作成時期

大学教員が履修カルテの記載状況を確認するために、教職課程の履修科目の受講を始めてから教育職員免許取得まで、継続して作成します。

3. 内容

光華 navi にログインし入力します。教職関連科目の履修状況について、当該科目の履修後に自己評価を入力してもらいます。科目ごとに、当該の授業科目を履修することによって、どのような知識や技術を身につけたと思うか(学んだこと)、当該の授業科目を振り返って、理解できなかった授業内容や、更に学習しなければならない内容等、どのようなことを今後の課題と考えるのか(今後の課題)を記述します。

なお、履修カルテは、4年次開設の「教職実践演習」「教職・保育実践演習」の履修にあたって必要となります。それまでに年次ごとに計画的に入力をする必要があります。

■「教職実践演習」・「教職・保育実践演習」

「教職実践演習」(中・高・栄・養)「教職・保育実践演習」(幼・小)は、4年生の後期に開講される科目で、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するための総まとめとして位置づけられた科目です。この科目では、履修カルテを活用しながら、演習を中心に ICT を積極的に活用し取り組む内容となり、これまで以上に教員としての資質が問われる内容となっています。

京都光華大学

教職・保育職支援センター

【学生情報】

学生証番号	
氏 名	
学部・学科・専攻	
アドバイザー	

【取得希望免許・資格】

免許・資格	
-------	--

【教育実習】

実 習 名	
実 習 先	
実習期間	

【学外演習・ボランティア経験等の状況】

--

【教職を目指す上での課題として考えている事項】

--

教職課程履修カルテ 自己評価シート

京都光華大学

本学が養成する教師像に基づき、教師として必要な資質能力について、年次ごとに自己評価をしてください。タブを選択し評価してください。

学生証番号 名前

評価基準【 1：そう思う 2：ややそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない 】

評価項目	1年次	2年次	3年次	4年次
1. 「建学の精神」である真実心を教育理念とした信念のある教師				
1-1. 「主体的な人間」「共に生きる人間」をめざす				
・教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。	【教職の意義】			
・教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。	【教育の理念・教育史・思想の理解】			
・学校(幼児)教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	【学校教育の社会的・制度的・経営的理解】			
1-2. 子どもの主体性や能力を大切にす				
・子ども理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得していますか。	【心理・発達論的な子ども理解】			
・子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。	【公平・受容的態度】			
2. 幅広い識見と専門的な知識を有する実践力のある教師				
2-1. 幅広い教養を身につける				
・教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。	【教育課程の構成に関する基礎理論・知識】			
・道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	【道徳教育・特別活動】			
・「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。 ※幼児教育コースの学生は回答不要。(三免取得希望の学生は回答すること)	【総合的な学習の時間】			
・情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。	【情報機器の活用】			
・学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。 ※幼児教育コースの学生は回答不要。(三免取得希望の学生は回答すること)	【学習指導法】			
2-2. 専門分野の知識を究める				
・これまで履修した各教科に関する指導の内容について理解していますか。	【教科】			
・学習指導要領の内容を理解していますか。	【教科書・学習指導要領】			
2-3. 理論を実践へいかそうとする				
・教材を分析することができますか。	【教材分析能力】			
・教材研究を生かした授業を構想し、子どもの反応を想定した指導案としてまとめることができますか。子どもの姿に即した指導計画を立案することができますか。	【保育・授業構想力】			
・指導計画に沿った適切な教材研究や準備ができますか。	【教材開発力】			
・子どもの反応を生かし、皆で協力しながら保育・授業を展開することができますか。	【保育・授業展開力】			
・保育を実践する上での基本的な表現の技術を身につけていますか。板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けていますか。	【表現技術】			
・保育を行う場の環境設定、安全・衛生面の配慮をすることができますか。学級経営案を作成することができますか。	【学級経営力】			
3. 教職に対する使命と責任を重んじ、子ども・児童・生徒を大切にする教師				
3-1. 誠意をもって子どもに向かう				
・子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。	【発達段階に対応したコミュニケーション】			
・気軽に子どもと顔を合わせた、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができますか。	【子どもに対する態度】			
・挨拶、言葉遣い、服装、他人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身につけていますか。	【社会人としての基本】			
3-2. 子ども一人ひとりに対して愛情をもって理解しようとする。				
・学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	【学習集団の形成】			
・いじめ(子ども困り)、不登校(不登園)、特別支援教育などについて、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。	【子どもの状況に応じた対応】			
4. 保護者・地域と連携した開かれた学校づくりを担う教師				
4-1. 多面的な視点で思考する				
・他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。	【他者意見の受容】			
・他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。	【共同授業実施】			
4-2. 必要に応じて他者と共同作業ができる				
・集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。	【他者との連携・協力】			
・保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。	【保護者・地域との連携協力】			
4-3. リーダーシップを発揮できる				
・集団において、率先して自らの役割を見つたり、与えられた役割をきちんとこなすことができますか。	【役割遂行】			
5. 社会の変化に柔軟に対応しうる指導力となる教師				
5-1. 現在の諸問題に取り組む姿勢をもつ				
・いじめ(子ども困り)、不登校(不登園)、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができますか。	【教育時事問題】			
5-2. 自己研鑽を重ねる努力をする				
・自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。	【課題認識と探求心】			

■教職履修カルテ入力確認

1. 下記の項目について、各授業科目で「学んだこと」「今後の課題」を、履修カルテへ入力完了しているかをチェックしてください。

- 教育の基礎的理解に関する科目（幼・小・中・高・栄・養）
- 領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼）
- 教科及び教科の指導法に関する科目（小・中・高）
- 栄養に係る教育に関する科目（栄）
- 養護に関する科目（養）
- 大学が独自に設定する科目（幼・小・中・高・栄・養）
- 文部科学省令に定める科目（幼・小・中・高・栄・養）

2. 下記の項目についても記入してください。

- 教職院に関する学外演習・ボランティア経験等の状況
- 教職を目指す上での課題として考えている事項
- 必要な資質や能力についての自己点検評価

3. 完了確認(報告)

わたしは、「教職課程履修カルテ」の作成が終了しました。

年 月 日

学生証番号 _____ 名前 _____

取得予定免許状 _____